



平成 30 年 1 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社インターアクション  
代表者名 代表取締役社長 木地 英雄  
(コード番号 7725 東証第一部)  
問合せ先 代表取締役副社長 木地 伸雄  
電話番号 045-788-8373

### 第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、第三者割当による自己株式の処分（以下、「本自己株式処分」といいます。）を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 処分の概要

(1) 払 込 期 日	平成 30 年 1 月 31 日(水)
(2) 処分する株式の種類および数	普通株式 105,600 株
(3) 処 分 価 額	1 株につき金 937 円
(4) 処 分 総 額	98,947,200 円
(5) 処 分 先	資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）
(6) そ の 他	本自己株式処分については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

#### 2. 処分の目的及び理由

当社は、平成 26 年 7 月 11 日付で「株式給付信託（BBT=Board Benefit Trust）」（以下、「本制度」といいます。）の導入を公表し、平成 26 年 8 月 27 日開催の第 22 期定時株主総会において、役員報酬として決議されました。本制度につきましては、その後、平成 28 年 8 月 26 日開催の第 24 期定時株主総会において、一部改定の上で継続することが決議されております（本制度の概要につきましては、平成 28 年 7 月 12 日付「株式給付信託（BBT）の継続及び一部改定に関するお知らせ」をご参照下さい。）。

本自己株式処分は、本制度の継続運営に当たって当社株式の保有及び処分を行うため、資産管理サービス信託銀行株式会社（本制度に関してみずほ信託銀行株式会社と締結済みの信託契約に基づいて設定されている信託（以下、「本信託」といいます。）の受託者たるみずほ信託銀行株式会社から再信託を受けている再信託受託者）に設定されている信託E口に対し、第三者割当により自己株式を処分するものであります。

処分数量については、「役員株式給付規程」に基づき信託期間中（平成 30 年 5 月末日で終了する事業年度）に当社の取締役へ給付すると見込まれる株式数に相当するものであり、平成 29 年 11 月 30 日現在の発行済株式総数 10,052,100 株に対し 1.05%（小数点第 3 位を四捨五入、平成 29 年 11 月 30 日現在の総議決権個数 95,465 個に対する割合 1.11%）となります。

#### ※信託契約の概要

信託の種類	金銭信託以外の金銭の信託（他益信託）
信託の目的	役員株式給付規程に基づき信託財産である当社株式を受益者に給付すること
委託者	当社
受託者	みずほ信託銀行株式会社 みずほ信託銀行株式会社は、資産管理サービス信託銀行株式会社と包括信託契約を締結しており、資産管理サービス信託銀行株式会社は再信託受託者であります。
受益者	取締役のうち受益者要件を満たす者
信託管理人	当社と利害関係のない第三者を選定 本信託勘定内の当社株式に係る議決権は、信託管理人の指図に基づき、一切行使しません。これにより、本信託勘定内の当社株式に係る議決権の行使について、当社経営への中立性を確保することを企図しています。
信託契約日	平成 27 年 2 月 2 日
信託設定日	平成 27 年 2 月 2 日
信託の期間	平成 27 年 2 月 2 日から信託が終了するまで

#### 3. 処分価額の算定根拠及びその具体的内容

処分価額につきましては、本自己株式処分の取締役会決議日の直前営業日までの1か月間（平成29年12月12日から平成30年1月11日まで）の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の終値平均である937円（円未満切捨）といたしました。

取締役会決議日の直前営業日までの1か月間の終値平均を基準としたのは、特定の一時点を基準にするより、一定期間の平均株価という平準化された値を採用する方が、一時的な株価変動の影響など特殊要因を排除でき、算定根拠として客観性が高く合理的であると判断したためです。また、算定期間を直近1か月としたのは、直近3か月、直近6か月と比較して、直近のマーケットプライスに最も近い一定期間を採用することが合理的であると判断したためです。

なお処分価額937円については、取締役会決議日の直前営業日の終値995円に対して94.17%（ディスカウント率5.83%）を乗じた額であり、取締役会決議日の直前営業日から遡る直近3か月間の終値平均855円（円未満切捨）に対して109.59%（プレミアム率9.59%）を乗じた額であり、あるいは同直近6か月間の終値平均784円（円未満切捨）に対して119.52%（プレミアム率19.52%）を乗じた額となっております。上記を勘案した結果、本自己株式処分に係る処分価額は、特に有利なものとはいえず、合理的なものと判断しております。

なお、上記処分価額につきましては、取締役会に出席した監査役3名（うち2名は社外監査役）が、特に有利な処分価額には該当しない旨の意見を表明しております。

#### 4. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本自己株式処分は、①希釈化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、株式会社東京証券取引所の定める有価証券上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続は要しません。

以 上